

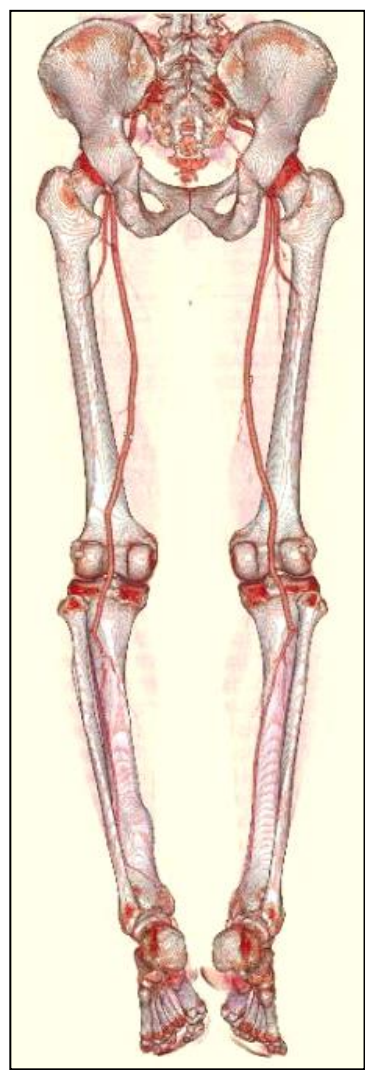
新型マルチスライスCTについて



○高速撮影により、息止め時間の短縮が可能です。

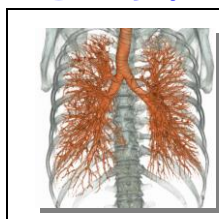
16列同時撮影により、肺野全体の高精細画像が10秒以下で撮影可能です。これにより、患者様の息止め負担を軽減できます。

全身用X線CT診断装置 新型16列マルチスライスCT



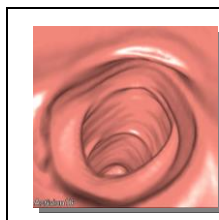
下肢血管の3D画像

○高精細な画質でありながら、被ばく量を大幅に低減できます。



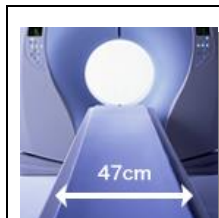
原画像の形態を忠実に再現しながらノイズを除去することで、高画質と低線量撮影が両立できるようになりました。

○内視鏡を挿入しない仮想大腸内視鏡検査ができます。



内視鏡を挿入しないマルチスライスCTの撮影により、大腸を様々な方向から調べることができます。検査時間も15分程度で終わります。

○リラックスした環境で検査を受けることができます。



このクラスで最も広い幅47cmの寝台は、大柄の患者様でもゆったりと横になれます。また、高齢の患者様でも乗り降りしやすいように、寝台は床上約31cmまで下がります。

《詳細については、担当医師までご相談ください。》